

2021年4月1日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

2021年度入社定期採用新入社員社長訓示(要約版)

当社は、社会の発展を支える素材を提供する会社として、確固たる事業基盤を築くとともに、さらなる成長を目指して世界で事業を展開している。

昨年3月には、「世界の非鉄リーダー」を目指すという当社の長期ビジョンを実現するためのマイルストーンとして、「2030年のありたい姿」を発表し、持続可能な社会形成を実現するために、当社が取り組むべき重要課題とその解決へのアプローチを明らかにした。

政府が昨年掲げた2050年の「カーボンニュートラル」の達成は、日本にとって、また、産業界にとって大きな変化であり課題である。周囲の変化を敏感に感じ、この時代を、自ら、主体的に、どう切り拓いていくのか、当社の経営や事業はどうあるべきなのかを深く考える努力を惜しまないことだ。

一方、世の中が変わっても変わらないもの、変わってはいけないものもある。

JCO 臨界事故から昨年で21年が経った。当社に入社した以上は、自分事としてしっかり見つめ直していただきたい。我々は事故の反省と教訓を胸に、約20年間を駆け抜けてきた。環境が変化するなかにあっても、決して風化させてはならない。

当社社員となった皆さんに、2つのことをお伝えしたい。

①「コミュニケーション」

皆さんは正解のない課題に、より良い答えを見出すことができる人材として採用された。0のものを1に、その1を多くの人を巻き込みながら10にすることが課せられている。そのためには「コミュニケーション」が大切であり、このような状況下では、「質」はもちろん、「量」がより重要になる。

②「学び」

「学び」とは自分勝手な思惑を捨て、この世界を正しく見る力を養う意味がある。これから難しい判断を下す局面がいくつも待っていると思うが、その場の損得で動かず、易きに流れず、難しい道を自ら進んで選んでいただきたい。そこでの経験が皆さんの将来の糧になる。

組織にとって現状維持は衰退を意味する。正しい危機感を持たなければ、いずれ致命的な問題に直面する。当社は430年の歴史のなかで、幾度となく存亡の危機に見舞われたが、先人たちの知恵と努力で乗り切り、発展を成し遂げてきた。しかし、これから我々が直面する課題は、これまで経験したことのない、複雑に入り組んだ課題である。若い皆さんの柔軟かつフレッシュな発想や行動力に大いに期待している。新たなチャレンジに向けて、自由闊達に意見をぶつけ合い、存分に力を発揮してほしい。

最後に、皆さんが今日、入社の日を迎えることができたのは、これまでご家族をはじめとする多くの方々が支えてくれたおかげである。今後も感謝の気持ちを忘れずに、社会人として、一人の人間として大きく羽ばたき成長することを心から願っている。

以上